

平和の鐘

幟町教会に赴任して

アンドレア 荻喜代治 神父



4月13日、4年間の米子教会での生活を終え、幟町教会に来ました。こちらに来て、早や、1か月が過ぎようとしています。日本人、フィリピン人、ベトナム人のたくさん集まっている教会です。その他に、ペルー人、ブラジル人、アメリカ人など、たくさんの国の人たちが、また、いろんな障害を持たれた方も集まっている、インターナショナルな教会です。国を超えて、みんなで協力して素晴らしい教会へと成長して行きたいと思っています。

今の所、まずはたくさんの人たちと出会い、皆さんのことを知って行きたいと、できるだけすべてのミサの終わりには、聖堂に行き、皆さんと出会って行きたいと思っています。

ミサの時だけではなく、いろんな集まりに顔を出して、皆さんと知り合いになって行きたいと思っています。

この教会は活発に動き、いろんな活動がありま

す。無理のない負担のない形で、皆で、楽しく進んでいきたいと思っています。

ミサの時、子供たちの姿が少ない気がします。幸い、4月から服部神父、橋本シスターを中心として、数名のリーダーが協力して新しく教会学校が始まりました。日本人と多国籍の人たちの子どもたちが楽しく集える教会学校がスタートしましたので、たくさん集まってください。中高大学生たちも侍者や集いを続けてくれています。

青年たちもみんなに呼び掛けて5月13日には、ピザパーティを開いてくれました。マリア会、ヨゼフ会も集まりが出来ています。その他、いろんな集いがあります。

どうか、皆が、謙虚に、相手の話に耳を傾け、協力しながらすばらしい幟町教会へと成長していきま

聖堂工事に伴うお願い



—昨年からはじめた、聖堂の保存工事は、来夏に完成予定です。現在、聖堂内の補修も始まり、足場が架設され信徒席が少なくなっています。

- ・本来 : 400席(後部補助席含む)
- ・現在 : 270席(後部補助席なし)

なお、工事の関係で今秋より、信徒席は、もっと少なくなる予定です。(150席程度?) 立ったままの人が増えるだけでなく、「参列者が収容できるか?」との問題もあり、対策協議中です。

当面は出来るだけ前席へ、詰めて、座っていただくことをお願いします。

私たちの新しい家族を よろしくお願ひします

3月31日、4月1日の御復活に与り、私たちは新しい16人の家族をお迎えました。

これから、共に信仰を深め、一緒に活動をしていく仲間です。どうぞよろしくお願ひします。

受洗された二人からメッセージをいただきましたので、紹介します。

ASさんの喜びの声

ご復活おめでとうございます。

この度洗礼の恵みに授かり、ずっと待ち望んでいた御聖体をいただくことが出来て、本当に喜びでいっぱいです。

ここにいたるまで、たくさんの方に支えて頂きました。特に、1年間の受洗の勉強会をはじめ、それ以前から私を導いてくださった大西勇史神父様、洗礼を受けるきっかけになった中ブロに誘ってくださり、代母も快く引き受けてくださったNちゃん、未信者だった私を温かく迎えてくださった教会学校の方々をはじめ、全ての神父様と信徒の皆さまにこの場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

これからは、いただいたご恩をお返ししてまいたいと思います。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。



HI さんの喜びの声

7回目の年女を迎えようとしている私が、これから先の人生をどう生きるべきかと考えるようになったのは、今から3年前のある日、弟が医師から食道がんの宣告を受けた時からでした。友人（信徒としての大先輩）から教えていただいた9日間の祈りから始め、日曜日のミサにも欠かさず与ってまいりました。

そんなある日、まだ聖体拝領ができない私が祝福をお願いしたヴィタリ神父様から「あなた、まだ洗礼受けてないの?」。その思いがけない問いかけに「えっ、もしかしたら私、神様から招かれているの?」とうれしくて思わずスキップしたい気分にとらわれました。「そうだ、今からは神様のみことば、教会の教えに従う生き方をしよう」

そう決心した私は、早速受洗のための講義に応募。先輩方からの激励も受けながら、勉強を続けてまいりました。そして今回の復活祭に洗礼のお恵みをいただくことができました。

さて弟の方ですが、食道の全摘出の大手術も無事終わり、その後、胃がんの手術も受けましたが、今では無理はできないまでも、普通の生活に戻ることができました。一方、受洗前に見つかり、大学病院にまで送られた私の病についても、特段の手当を受けることもなく、受洗後受けた再検査の結果、大腸にあった潰瘍がきれいに消えているということが分かりました。10月13日生まれの私、ファチマのマリア様のご保護と、教会の方々の励ましとお祈りに対し感謝し、新たに幟町教会の信徒の仲間にならぬことに数えられることになった喜びを噛みしめたいと思います。



教会に集い活動する方々に、思いや活動の状況などを語ってもらいます

聖堂保存作業の昔

施設管理部 S

私が幟町教会に転入したのは、1970年の4月でちょうど、大阪万博が開催された年で、家族を大阪府堺市に残しての単身赴任でした。千田町に下

宿し、最初のミサに与った後、塔に上り、その眺望の良さに感激しました。広島駅や比治山、宇品港も手に取るように見え、現在とは比較できない眺望でした。ふと下を見ると告解室の屋上が太陽の光を受けてキラキラと輝いていました。これはおかしいと思い、塔から降りて梯子を探して上ってみると、水が満々と溜まって、壁のレンガを見ると苔がびっしりと生えていました。一カ月に二回程塚に帰り、主日のミサ後は排水口を探して泥土を取り除き、排水口を探し当ててからはトイレのつまりに使う棒吊りで一生涯懸命排水を試み、6月のある日曜日、棒吊り運動をしていると突然水柱が上り、水が排水口へ勢いよく吸い込まれ、私も大きな満足感に浸り、下に降りると野口司教様が立っておられ褒められました。

おめでとう

初聖体&新入生



4月8日、子供2人の初聖体がありました。この日、新しい仲間5人の紹介も行われました。

編集後記



【聖堂保存に想う】

大戦末期に投下された原爆により、広島の街は焼野原と化した。後に聖堂建設の中心となった、ドイツ人ラサール神父は敷地に立ちすくんでいた。「こんな事をしていてはいけない!」「世界中が愛の関わりを」と一念発起し、市民はもとより世界中に呼び掛け、『犠牲者の追悼と世界平和』を希求し、この聖堂が建てられた。…聖堂を継承している私たちは、建設に協力して下さった市民の方々、世界の方々へ「何をお返ししているだろうか?」と工事中の聖堂を見るにつけ、考えさせられます。(の)

カトリック幟町教会

〒730-0016 広島市中区幟町4番42号
 電話 082-221-0621
 ファクス 082-221-8486
 ホームページ <http://noboricho.catholic.hiroshima.jp>

ミサの時間

日曜日 7:30、9:30、14:30~(英語)
 第1日曜日 16:00(ポルトガル語)
 第3日曜日 11:00(ベトナム語)
 月の最後の日曜日 17:00(スペイン語)
 平日 7:00 金曜日 7:00、10:00
 土曜日 7:00、18:00(主日)

主任司祭 荻喜代治 神父
 助任司祭 服部大介 神父(教区司祭) バート神父(淳心会)
 協力司祭 ベッラ・アルベルト 神父(ミラノ外国宣教会)

シスター 小野島照子(援助修道会)